

家庭用 スイッチ断ボールⅢ

型式 A001J

簡易タイプ感震ブレーカー

取扱説明書

株式会社 エヌ・アイ・ピー

お客様組立て
取り付け商品

消防防災製品等推奨品

- この説明書には下記のマークを付けています。
拡大損害が予想される事項には……… ⚠
禁止行為には……… ⚡
特に良く読んで頂きたい事項には……… !
- 第三者に貸与される場合は、この説明書を必ず添付してください。
- この製品を安全にご使用していただけるご使用期間は10年です。
- この説明書は大切に保管してください。

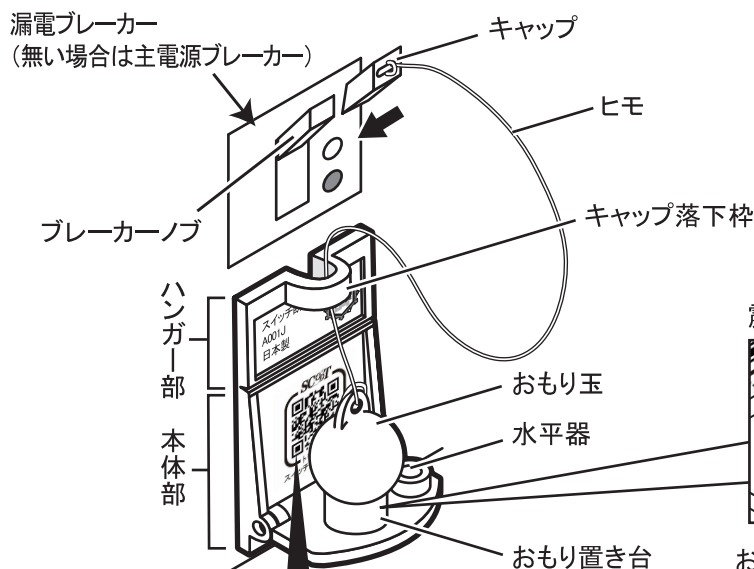
この度は家庭用電源遮断器「スイッチ断ボールⅢ」をお買い上げいただきありがとうございます。

この製品は震度5強以上(調整可能)の地震が発生した際におもり玉の落下を利用し家庭用のブレーカーを自動的に遮断し、電力復旧後の通電火災を防ぐ器具です。ご利用の前にこの説明書をよく読んで、正しく安全にお使いください。

各部の名称・付属品

付属品をご確認ください。万が一不足している場合はご使用前にお買い求めの販売店、もしくは当社にご連絡ください。

※配電盤に本体を設置した図です。



本体のQRコードで取説閲覧!
最新のアプリをご使用ください。

- ご使用開始後の安全上の情報をお伝えする最新のGS1QRコードを使用しています。
下記から専用アプリ(無料)をダウンロードしてください。
- ご使用開始時には必ず新しいアプリで取扱説明書が閲覧できることを確認してください。

App Store



Google Play

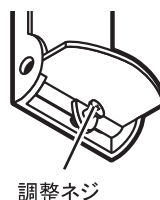


GS1QR



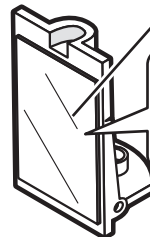
- 配電盤の形状や、真下に棚があるなど、おもり玉の落下スペースが十分に無い場合などは設置できない場合があります。詳しくは販売店もしくは当社(連絡先P.4記載)に連絡してください。
- 貼り付ける前にセロテープで仮止めして作動テストを行ってください。
※一度貼り付けると貼り直しできません。

本体下側



本体裏側

両面テープ

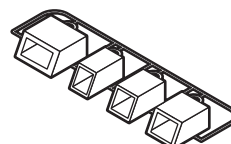


貼り付ける前にセロテープで仮止めしてください。

付属品

キャップ(5種類)

ブレーカースイッチノブ形状に合わせて選んでください。



ひっかけ式キャップ



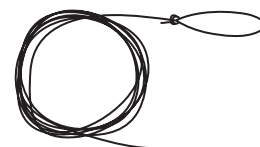
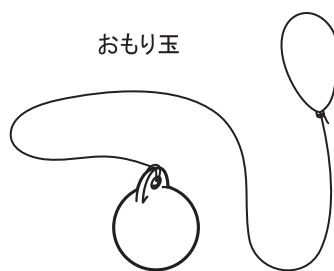
埋め込みタイプのブレーカーに使用します。

震度調整リング

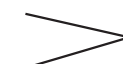


おもり置き台に震度調節用リングがあらかじめ取り付けられています。(P.3参照)

おもり玉



長いヒモ



スイッチ穴通し(銅線)

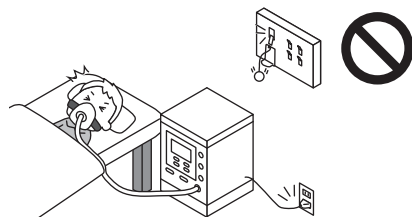
!ご使用の前に…



警告

重大な事故の原因となります。

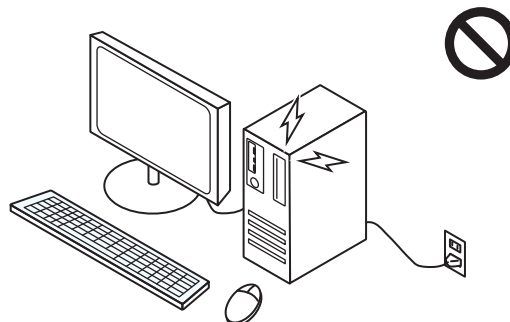
- 停電対応のされていない生命維持装置等の医療機器が接続されている回線には使用しないでください。



注意

ケガや器具損傷の原因となります。

- 当器具が作動すると電源が遮断されるので、ハードディスク作動中の電源を内蔵していないパソコン等の故障の原因になります。
- 当器具取り付け時は高所での作業となるので、安定した台に乗って作業してください。
- 本書記載以外の用途では使用しないでください。



1. 配電盤の確認

ブレーカーの位置やブレーカーカバーなどにより設置位置が異なりますので、設置前に配電盤の形状をよく確認してください。



配電盤の形状や、真下に棚があるなど、おもり玉の落下スペースが十分に無い場合などは設置できない場合があります。詳しくは販売店もしくは当社（連絡先P.4記載）に連絡してください。

(1) 設置可能な配電盤の形状

P.4の「3. 設置方法」を良く読み、①、②、③、④、⑤いずれかの適切な場所へ取り付けてください。

① 漏電ブレーカーの下に縦6cm、横4cm以上のスペースがある配電盤 [図1]



P.3(2) 配電盤形状別の貼り付け場所①の場合へ

② 表面が曲面になっている配電盤 [図2]



P.3(2) 配電盤形状別の貼り付け場所②の場合へ

③ 埋め込み式ブレーカーの配電盤 [図3]



P.3(2) 配電盤形状別の貼り付け場所③の場合へ

④ カバーがついている配電盤 [図4]



P.3(2) 配電盤形状別の貼り付け場所④の場合へ

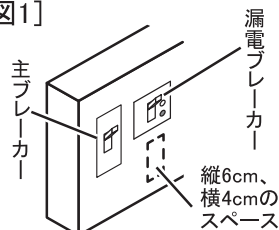
⑤ 中部電力 30A以下の配電盤 [図5]

30A以下のブレーカーでは、スイッチノブの作動方向が上側で「切」、下で「入」になります。



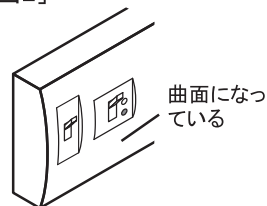
P.3(2) 配電盤形状別の貼り付け場所⑤の場合へ

[図1]



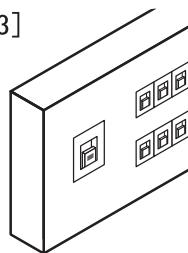
漏電ブレーカー下に縦6cm、横4cm以上のスペースがある

[図2]



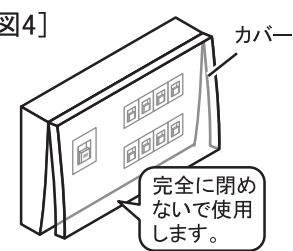
- ・配電盤が曲面になっている(垂直に貼れない)
- ・漏電ブレーカー下に、本体を貼るスペースがない

[図3]



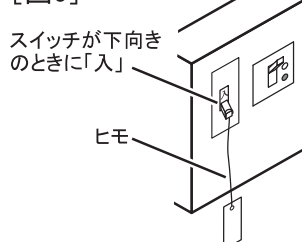
埋め込み式ブレーカーにも対応しています。

[図4]



カバー付の配電盤は、蓋をロックしないで使用します。

[図5]



中部電力30A以下の配電盤は主ブレーカーにヒモがついており、スイッチが上向きときに「切」、下向きときに「入」になっています。

(2) 配電盤形状別の貼り付け場所

①の場合

漏電ブレーカーの下に本体を貼り付けます。[図6]

②の場合

- 1.本体をスジにそって、裏面の両面テープごとハサミで切り分けます。[図7]
- 2.空いているスペースに本体部分を貼り付けます。
- 3.漏電ブレーカーの下にハンガー部分を貼り付けます。[図8]

③の場合

- 1.ブレーカーの下にスペースがある場合は①を、スペースがない場合は②を参考にしてください。[図7]
- 2.本体を配電盤横に貼り付けることもできます。[図9]
- 3.キャップはひっかけ式キャップを使用してください。

④の場合

- 1.本体を切り分けます。[図7]
- 2.おもり玉のヒモを長いヒモに交換します。
- 3.カバーの中の主ブレーカーまたは漏電ブレーカーの下にハンガー部分を貼り付けます。[図10]

⑤の場合 (中部電力 30A以下の配電盤)

(1)主ブレーカーと漏電ブレーカーがある場合
[図6]や[図8]を参考に漏電ブレーカー下に貼り付けます。

(2)漏電ブレーカーがない場合

- 1.主ブレーカーノブについているヒモを外します。
- 2.本体を切り分けます。[図7]
- 3.ハンガー部を主ブレーカー真上に、本体部を右横の平な部分に貼り付けます。[図11]
- 4.キャップは[図12]の向きで差し込んでください。

2.動作震度の設定

建物構造や地盤などを考慮して設定を決めてください。

基本設定 (震度5強以上) [図13]

おもり置き台に直接おもり玉を設置して使用します。
あらかじめ付いている震度調整リングを全て外してください。
※感震ブレーカー等の性能評価ガイドラインに対応

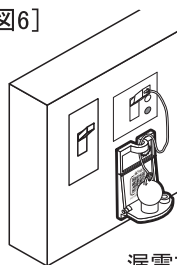
震度6強以上の設定 [図14]

置き台に震度調整用リング(小)をはめ込みます。
(1981年以前の建築基準法に則った建物)

震度7以上の設定③ [図15]

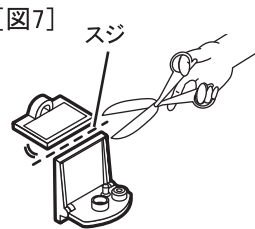
置き台に震度調整用リング(小)をはめ、その上からさらにリング(大)をかぶせます。
(新建築基準法に則った建物)

[図6]

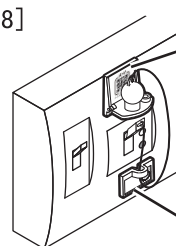


漏電ブレーカーの下に貼り付けます。

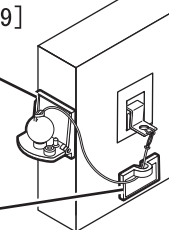
[図7]



[図8]

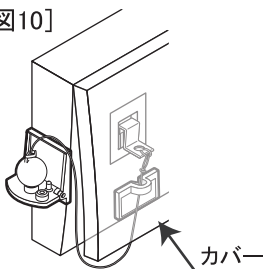


[図9]



ハンガー部分をブレーカー下に、本体を空いているスペースに貼り付けます。

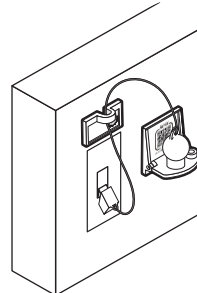
[図10]



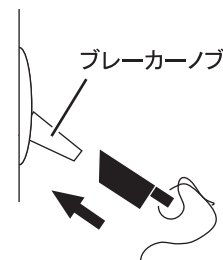
カバーは完全に閉めない！

カバーは完全に閉めないでください。
ヒモが引っかかり、おもり玉が落ちません。

[図11]



[図12]



[図13] 震度5強以上



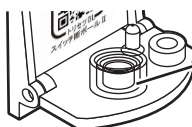
おもり玉をそのまま載せます。

[図14] 震度6強以上



リング(小)をつけます。

[図15] 震度7以上 (開梱時の状態)



リング(小)にさらにリング(大)をかぶせます。



ご使用上の注意

設置方法が適切でない場合は正常に動作しない場合があります。

3.設置方法

- 1.貼り付けの前に、配電盤の貼り付ける面を「6-お手入れ方法」に従って、きれいにしてください。
- 2.配電盤の設置する位置に本体を合わせます。
- 3.セロテープで仮止めをします。
- 4.本体の水平器の泡が中心にくるようにおもり置き台の角度を調節します。[図16]
- 5.本体裏側にある両面テープのはくり紙をはがし、配電盤に貼り付けます。

4.おもり玉の設置

- 1.おもり玉は本体貼り付け後、一晩放置してから設置してください。
- 2.おもり玉を置き台の上に設置します。
- 3.おもり玉のヒモをキャップ落下枠に通します。
- 4.設置したいブレーカーノブにはまるキャップを選びます。
埋め込み式タイプのブレーカーの場合は、ひっかけ式キャップを使用してください。
- 5.キャップとヒモを結びます。[図17]
 - (1)キャップのヒモ通し穴にヒモを通します。
 - (2)ヒモの輪の中にキャップをくぐらせます。

4つのキャップがどれも合わない場合

- (1)ヒモからおもり玉を外します。
 - (2)スイッチ穴通しを使い、直接ブレーカーノブにヒモを結びます。[図18]
 - (3)キャップ落下枠にヒモを通し、おもり玉を結びます。
- 6.キャップを正しい向きでブレーカーノブにかぶせます。[図19]
埋め込み式タイプの配電盤は引っ掛けるようにかぶせます。[図20]
 - 7.中部電力30A以下の配電盤は、P.3[図12]のようにかぶせてください。
以上で設置終了です。

5.動作確認

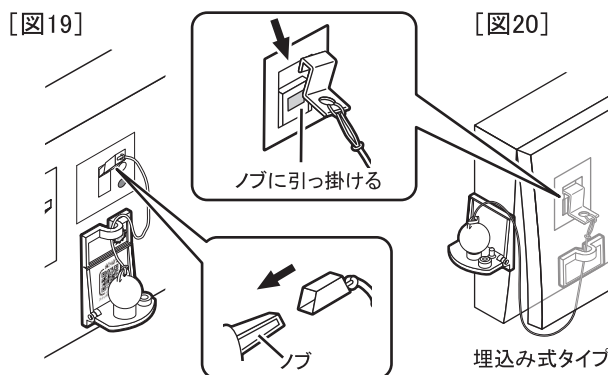
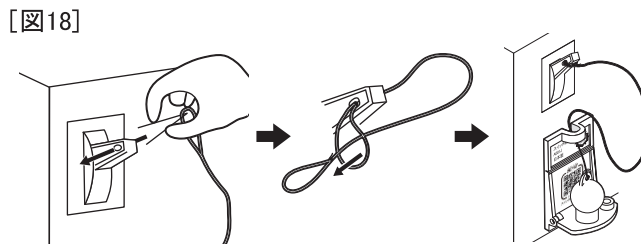
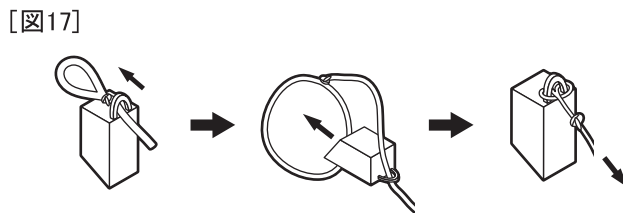
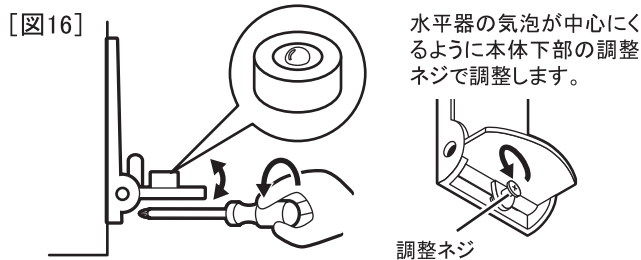
- 1.P.2の「警告」と「注意」をよく読み、電源が遮断されても問題ないことを確認してから、動作テストを行ってください。
- 2.おもり玉を指ではじいて落とし、ブレーカーがその重みで遮断されることを確認してください。
- 3.ブレーカーが遮断されない場合は、加速度を増すため付属の長いヒモに取り替えて、再度テストを行ってください。

6.お手入れ方法と日常の確認

- 汚れはから拭きするか、うすめた中性洗剤を柔らかい布に付けて汚れを拭き取ってください。
- 当器具を付けているブレーカー回線に、パソコンや医療器具が接続されていないことを日常的に確認してください。

7.トラブルシューティング

- Q: おもりを落としてもブレーカーが遮断されない。
A: 加速度を増やすため付属の長いヒモに取り替えてください。



タイプ別感震ブレーカー等の性能表示(簡易タイプ)

出火予防性能 【必須項目】	感震遮断	★
	予防範囲	★ ★ ★
避難安全等 確保機能 【選択項目】	照明確保	—
	通電継続 回線確保	—

保証規定

この保証規定は、本書記載に基づく正常な使用において、故障や欠陥が発生した場合にお買い上げ後1年以内であれば、下記の免責事項をのぞき無償にて修理または交換をお約束するものです。

- ①本書記載以外の使用や禁止行為等に起因するもの。
- ②火災・地震・水害等の天変地異ならびに事故等外部要因に起因するもの。
- ③お買い上げ後の落下・輸送による故障や損傷。
- ④両面テープなど消耗品。

仕様

品 名: スイッチ断ボールⅢ
用 途: 地震の際に電源を遮断し、通電火災を防ぐ装置
材 質: 本体・キャップ部品: ABS樹脂 おもり玉: 鉄球にABS樹脂被覆
寸 法: 奥行き28×幅34×高さ58(mm)
重 量: 本体: 約60g おもり玉: 約45g
付属品: ひも、スイッチ穴通し、震度調節用リング大小各1個
期待寿命: 10年
原産国: 日本

製造発売元

株式会社 エヌ・アイ・ピー

〒114-0015 東京都北区中里1-20-1 塚本ビル1F
電話: 03-3823-6220 FAX: 03-5834-8392
URL: <http://www.bbk-nip.jp> mail: info@bbk-nip.jp